

取引情報の照合に関する基準と OCP 開発に関する 2015 年予定表

質問	回答	2015 年				2016 年
		1 月～ 3 月	4 月～ 6 月	7 月～ 9 月	10 月～ 12 月	1 月～ 3 月
OCP に関して、私たちは正しい方向に進んでいますか？ (業界関係者との打合せやオンラインセミナーを通じて寄せられた OCP に関するフィードバック)	FSC は 2014 年 9 月の総会前、総会中、総会後に利害関係者と話し合いを行いました。 話し合いの結果、FSC は OCP の使用を義務化しないことを決定しました。一方で、改定 CoC 規格の中には取引情報の照合に関する基準が含まれる可能性があります。改定 CoC 規格はまもなく 2 回目のパブリックコンサルテーションが行われる予定であり、取引情報の照合に関する項目が残ることになれば、認証取得者は購入した FSC 認証製品の取引情報の正確性を検証しなければいけなくなります。検証のための方法は限定せず幅広く認める予定です。今後も利害関係者と話し合い、オンラインセミナーを通じて意見を聞いていく予定です。					
不正確な取引情報に起因する問題が本当に発生しているのですか？ (問題の程度の調査)	予備的な非公式の調査では、FSC 制度の中で不正確な取引情報が伝達されている事実が発覚しましたが、問題の程度までは明らかになりませんでした。問題がどの程度なのか、正確に把握するのは容易ではありません。そのため FSC は世界的な林産物とその市場のアナリストとして知られている Ed Pepke 氏をコンサルタントとして雇い、FSC 制度内で不正確な取引情報が発生している程度についてより多くの情報を得るための調査を依頼しました。 調査には質的および量的なパラメーターが両方含まれており、地域的および世界的な規模で実施されます。					
OCP の使用が任意になった今、どのように FSC は不正確な取引情報に関する問題を解決するのですか？ (CoC 規格の改定)	OCP の任意化に伴い、FSC は CoC における不正確な取引情報伝達のリスクを最小化するための他の方法を導入する必要があります。現在の FSC からの提案は改定中の CoC 規格の中に取引情報の照合に関する基準を含めるというものです。この基準により、認証機関は認証製品の取引に関わる 2 者間の取引情報の相互確認をすることができるようになります。取引情報の照合のために使用可能なツールとして OCP は認められる予定です。 改定 CoC 規格の草案第 2 版の公開にあわせて、取引情報の照合に関する討議資料も公開される予定です。これは取引情報の照合に関して特に意見を求めるためのものです。					
制度改定のために意見を出せば考慮してもらえるの？ (意見募集のためのコンサルテーション)	改定 CoC 規格および認定規格(認証機関向けの規格)のコンサルテーションの一環として、すべての利害関係者は取引情報の照合に関するリスクに応じたアプローチについて意見を述べるができます。FSC では取引情報の照合に関して特に詳細に説明した討議資料を準備中で、改定 CoC 規格の第 2 回パブリックコンサルテーションの際にはこの資料があわせて公開される予定です。ここで寄せられたコメントは、CoC 規格改定の際に考慮されます。					

		2015 年				2016 年
質問	回答	1 月～ 3 月	4 月～ 6 月	7 月～ 9 月	10 月～ 12 月	1 月～ 3 月
改定 CoC 規格はいつ発効しますか？ (発効のタイミング)	取引情報の照合に関する基準が含まれたまま CoC 規格が改定されれば、規格発効後の認証機関による監査の際にすべての認証取得者は、どのように取引情報の照合に関する要求事項を満たすのか、その方法を示さなければなりません。改定 CoC 規格の第 2 回パブリックコンサルテーションは 2015 年 9 月～10 月に予定されており、大きな問題がなく 3 回目のパブリックコンサルテーションが不要と判断されれば、2016 年 3 月には理事会の承認に回される予定です。 改定 CoC 規格の発効の際には、認証取得者が改定規格に適合するために 1 年間の移行期間が設けられる予定です。					
取引情報の照合に関する基準はどのように FSC 戦略計画に反映されているの？ (簡略化 & 技術の活用)	戦略計画の草案では FSC 制度の信頼性を保った上での簡略化の必要性が強調されています。また計画ではまず CoC 認証からリスクに応じた監査の実施ができる制度への変革が謳われています。そのため、取引情報の照合と、インターネット等の技術を使った CoC 認証事務作業の簡略化は今後 5 年間の FSC の戦略と一致しています。					
OCP 通知機能の使用を開始できますか？ (CoC 管理に役立つツールとしての OCP)	OCP は取引情報の記録や承認という機能を使わなくても、供給者の認証状況に変化があった際の自動通知機能だけを利用することが可能です。ライブバージョンでは接続されている供給者の認証範囲に変化があった場合、メールによる通知が自動で OCP ユーザーに届く仕組みになっています。ライブバージョンの公開は 2015 年第三四半期 (7 月～9 月) の予定です。					
OCP はテストされているの？ (デモバージョンのテスト)	世界中の企業が OCP のデモバージョンをテストしています。寄せられた意見は OCP の機能を向上するために活用されています。テストの第一段階は終わりましたが、新しいバージョンの公開後もユーザーからの意見は募集し続けます。					
今すぐに OCP を使用できるの？ (OCP のライブバージョン)	OCP のデモバージョンが機能することは確かめられています。2015 年 9 月末までには OCP のライブバージョンが FSC データベースと繋がり、すべての認証取得者が利用可能となる予定です。					
データ機密性に関する懸念はまだあるの？ (OCP 利用規約)	FSC 法務チームは OCP 利用規約を見直しました。その結果、OCP がドイツおよびヨーロッパのデータ機密性に関する法律をすべて満たすことを保証しています。特にドイツでは外部の法律専門家が利用規約を精査しています。 OCP 制度は ISO27001 規格に基づき認証されており、データ保護に関して最大限努力しています。 新しい利用規約は OCP のライブバージョンとともに公開されます。					

質問	回答	2015 年				2016 年
		1月～ 3月	4月～ 6月	7月～ 9月	10月～ 12月	1月～ 3月
OCP は非認証取得者にも影響するの？ (OCP は FSC 認証製品のプロモーション機会を増やすためにも使える?)	FSC 本部と各国のネットワークパートナーは OCP がどのように商標に関する要求事項を簡素化し、商標管理を助けることができるかを検討しています。OCP を使用することにより製品上および広告宣伝目的でより幅広い FSC 商標の使用ができるようになるケースがいくつも提案されており、FSC はネットワークパートナーと共にパイロットテストを開始しています。 FSC ラベル付きの最終製品のサプライチェーンにおけるギャップを塞ぐための OCP パイロットプロジェクトが 2015 年に予定されています。					
OCP はどのように FSC データベースのデータ品質向上に貢献するの？ (認証取得者が自身の間違った認証情報を自分で指摘するための注釈機能の試験)	FSC は OCP 内での注釈機能を試す予定です。この機能は OCP 登録者に自身の認証情報 (FSC データベースから自動的に反映されたもの) の正確性を確認してもらい、間違った情報があれば、修正のための情報を提供できる問ものです。修正情報は OCP サポートを経て認証機関に転送されます。この試験は FSC データベースの情報の正確性の把握にも使え、今後どのように認証情報を更新すれば効率的かつ正確となるか理解できるようになると考えています。					
新規で CoC 認証を取得する際にも OCP は使えるのですか？ (FSC 制度の簡素化)	FSC が OCP に持たせようと努力している特徴のひとつが、これから認証を取得しようと考えている組織が OCP を使い、認証に必要な多くの要求事項を満たせるようにすることです。このような要求事項には例えば、数量集計、供給者一覧、FSC データベースに掲載が必要な情報、教育訓練記録などがあります。					
OCP は認証機関による監査の際にも使用できるツールですか？ (監査の効率化)	OCP のライブバージョンでは、認証取得者は自身で OCP を使用するだけでなく、自身のアカウントへのアクセス権を認証機関に与えることができます。監査時や監査前に自身の OCP アカウントへのアクセス権を与えることで監査の効率化が期待されています。					